

7. 地域別の施策の方向性

本編で本県の目指すべき将来像の実現に向けた県全体の施策を網羅的に示しましたが、この地域編においては、各地域の状況や課題を踏まえ特色を活かした施策を進める観点から、各地域における施策の方向性を整理しました。

【地域区分について】

地域区分については、様々な暮らしや社会経済活動の分野に応じて、小さな集落単位のものから県域を越えた広域的なものまで多様な捉え方がありますが、この地域編においては各行政分野の実行段階における地域区分等を勘案し、一例として以下の4地域に区分しました。

- ① 能登北部地域（2市2町）
輪島市、珠洲市、穴水町、能登町からなる地域
- ② 能登中部地域（2市3町）
七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町からなる地域
- ③ 石川中央地域（4市2町）
金沢市、かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町からなる地域
- ④ 加賀南部地域（3市1町）
小松市、加賀市、能美市、川北町からなる地域

【記載にあたって】

この地域編では、地域の特徴を踏まえて進めるべき主な施策の方向性を記載しました。
地域を問わず一定の水準の確保が必要である分野や、一地域にあっても県全域の課題と位置づける施策については、基本的に記載していません。

【各地域の主要データ】

項目	能登北部地域	能登中部地域	石川中央地域	加賀南部地域	県合計 (県平均)
人口					
現在人口(2010 国勢調査)					
総人口	75,458	135,960	723,223	235,147	1,169,788
年少人口 (構成比)	6,977 (9.2%)	16,248 (12.0%)	101,881 (14.1%)	34,177 (14.5%)	159,283 (13.6%)
生産年齢人口 (構成比)	38,738 (51.3%)	78,161 (57.5%)	465,770 (64.4%)	143,282 (60.9%)	725,951 (62.1%)
老年人口 (構成比)	29,669 (39.3%)	41,474 (30.5%)	147,607 (20.4%)	56,587 (24.1%)	275,337 (23.5%)
県全体での人口構成比	6.5%	11.6%	61.8%	20.1%	-
将来人口(2025 社人研推計)					
総人口	54,306	110,893	712,603	218,368	1,096,170
対2010年比	72.0%	81.6%	98.5%	92.9%	93.7%
年少人口 (構成比)	3,821 (7.0%)	10,604 (9.6%)	84,118 (11.8%)	26,162 (12.0%)	124,705 (11.4%)
対2010年比	54.8%	65.3%	82.6%	76.5%	78.3%
生産年齢人口 (構成比)	23,125 (42.6%)	55,110 (49.7%)	426,566 (59.9%)	124,867 (57.2%)	629,668 (57.4%)
対2010年比	59.7%	70.5%	91.6%	87.1%	86.7%
老年人口 (構成比)	27,360 (50.4%)	45,179 (40.7%)	201,919 (28.3%)	67,339 (30.8%)	341,797 (31.2%)
対2010年比	92.2%	108.9%	136.8%	119.0%	124.1%
将来人口(2025 国の長期ビジョン準拠)					
総人口	54,649	111,817	721,125	219,922	1,107,512
対2010年比	72.4%	82.2%	99.7%	93.5%	94.7%
年少人口 (構成比)	4,320 (7.9%)	11,673 (10.4%)	93,261 (12.9%)	27,868 (12.7%)	137,121 (12.4%)
対2010年比	61.9%	71.8%	91.5%	81.5%	86.1%
生産年齢人口 (構成比)	22,979 (42.0%)	54,966 (49.2%)	425,782 (59.0%)	124,706 (56.7%)	628,432 (56.7%)
対2010年比	59.3%	70.3%	91.4%	87.0%	86.6%
老年人口 (構成比)	27,350 (50.0%)	45,178 (40.4%)	202,082 (28.0%)	67,349 (30.6%)	341,958 (30.9%)
対2010年比	92.2%	108.9%	136.9%	119.0%	124.2%
社会増減(2014 住民基本台帳人口移動報告)					
転入者数	1,347	2,236	23,422	5,261	16,994
転出者数	△1,860	△3,070	△22,150	△5,772	△17,580
社会増減数	△513	△834	1,272	△511	△586
自然増減(2014 人口動態統計)					
出生者数	285	770	6,084	1,822	8,961
死亡者数	△1,356	△1,912	△6,445	△2,477	△12,190
自然増減数	△1,071	△1,142	△361	△655	△3,229
合計特殊出生率※1	1.66	1.57	金沢市以外 1.47 金沢市 1.39	1.57	1.45※2

項目	能登北部 地域	能登中部 地域	石川中央 地域	加賀南部 地域	県合計 (県平均)
地域					
観光入り込み客数※ ³ (千人)	6,932		金沢地域※ ³ 8,442	加賀地域※ ³ 6,238	21,611
産業					
就労者数※ ⁴	27,145	57,091	372,244	114,008	570,488
第一次産業 (構成比)	1,281 (4.7%)	928 (1.6%)	1,675 (0.4%)	535 (0.5%)	4,419 (0.8%)
第二次産業 (構成比)	7,029 (25.9%)	17,628 (30.9%)	80,527 (21.6%)	45,112 (39.6%)	150,296 (26.3%)
第三次産業 (構成比)	18,835 (69.4%)	38,535 (67.5%)	290,042 (77.9%)	68,361 (60.0%)	415,773 (72.9%)
事業所数※⁴					
第一次産業 (構成比)	102 (2.2%)	86 (1.2%)	177 (0.5%)	59 (0.5%)	424 (0.7%)
第二次産業 (構成比)	1,111 (24.0%)	1,777 (24.7%)	7,441 (19.6%)	3,761 (31.1%)	14,090 (22.8%)
第三次産業 (構成比)	3,421 (73.8%)	5,323 (74.1%)	30,251 (79.9%)	8,290 (68.5%)	47,285 (76.5%)
有効求人倍率※ ⁵	1.40	1.48	1.68	1.33	1.48
耕地面積※ ⁶	7,730ha	12,020ha	12,572ha	10,146ha	42,468ha
耕作放棄地面積※ ⁷	2,306ha	2,038ha	1,384ha	366ha	6,094ha
基幹的農業従事者に対する 65歳以上の割合※ ⁷	75%	74%	67%	64%	70%
暮らし					
医療施設従事医師数(人口10万 対)(全国を100とした場合)※ ⁸	60.7	79.7	143.1	72.3	116.6
就業看護師・准看護師数(人口10 万対)(全国を100とした場合)※ ⁹	100.5	128.0	139.5	112.9	130.6
一般世帯数に占める高齢世帯 の割合※ ¹⁰	34.0%	23.9%	15.7%	18.8%	18.3%
子育て世帯に占める三世帯 同居世帯の割合※ ¹⁰	44.9%	38.4%	16.6%	27.7%	22.4%

※1 厚生労働省「人口動態保健所・市町村別統計(2008～2012)」

※2 厚生労働省「人口動態統計(2014)」

※3 石川県「統計からみた石川県の観光(2014)」

金沢地域は、金沢市・かほく市・白山市(白山ろく地域を除く)・野々市市・津幡町・内灘町。

加賀地域は、小松市・加賀市・白山市(白山ろく地域)・能美市・川北町。

※4 総務省「平成26年経済センサス基礎調査結果」

※5 厚生労働省石川労働局「最近の雇用失業情勢」(2015/11)

※6 農林水産省「作物統計(面積調査)(2015)」

※7 農林水産省「農林業センサス(2010)」

※8 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(2012)」

※9 厚生労働省「衛生行政報告例(就業医療関係者)(2014)」

※10 総務省「国勢調査(2010)」

能登北部地域（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）

将来像Ⅰ 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

地域独特の観光資源（世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される豊かな自然、日本遺産「キリコ祭り」や「あえのこと」等の守り継がれた文化、能登井等の豊富な食、輪島朝市や揚げ浜式の塩田など）を活用し、能登ふるさと博等のイベントの実施や、スロートーリズム等の新たな観光魅力の発掘・磨き上げ等により誘客を促進するとともに、地域の交流基盤（のと里山空港、のと里山海道、能越自動車道、奥能登絶景海道、のと鉄道等）の充実と効果的な活用により、さらなる観光振興を図ります。

ジョブカフェ石川能登サテライトにおける若者・女性への就職支援や、合同企業説明会の開催、農業を含むインターンシップの充実、ふるさと教育の充実等により、学生の地元就職や県外からの移住・定住を促進します。併せて、のと鉄道の利用促進や生活路線バスへの支援などにより公共交通を維持確保するなど、良質な生活基盤を形成し、一生暮らす場所として選ばれる地域づくりを推進します。

いしかわ歴史遺産「平家の末裔 時国氏の繁栄」や日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」など地域固有の貴重な文化財の発掘・保存・活用を進めるほか、学生による地域課題の解決を推進するなど、地域の個性と魅力を一層磨き、地域の活力向上につなげます。

将来像Ⅱ 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

地域の強み（世界農業遺産「能登の里山里海」やのと里山海道等）を活かし、本社機能の誘致を含めた戦略的な企業誘致を推進するとともに、豊富で特色ある地域資源を活用した新商品開発や販路開拓への支援、輪島塗等の伝統的工芸品産業の活性化を図ります。

農林水産業では、地域の特色ある農林水産物（能登棚田米や能登野菜、能登大納言小豆、のとてまり、能登牛、天然能登寒ぶり、加能ガニ、海女採りあわび・さざえ、能登とり貝、能登ヒバ等）の産地化・ブランド化を促進します。農業では農業参入総合支援プログラムを活用し企業等の多様な担い手を確保するほか、製造業との連携により農業の収益性の向上を図ります。林業では高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産や県産材加工流通体制の整備等を進め、林業の収益性の向上を図ります。水産業ではアワビ等の種苗放流による水産資源の増殖を推進するとともに、海女文化の継承と、生業としての海女漁の振興を図ります。

世界農業遺産「能登の里山里海」を活用し、里山里海の生業づくりや、スロートーリズムの取り組み等による人を呼び込む農山漁村づくりを推進します。

将来像Ⅲ 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

若山川などの河川改修による洪水災害に対する防災・減災対策を進めるとともに、原子力防災対策の強化に取り組みます。

世界農業遺産「能登の里山里海」に象徴される豊かな自然環境の保全を推進します。

地域医療を確保するため、修学資金の貸与等により医師・看護職員の確保に努めるほか、他地域も含めた医療機関相互の連携の強化を図ります。

少子化対策としては、出会いの機会を増やすための取り組みや、企業における結婚支援の取り組み推進などにより、結婚への支援の充実を図ります。また、子育て世帯の三世帯同居が多い中、子育て支援の充実に取り組みます。

今後もさらなる人口減少・高齢化が見込まれるため、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域での見守り体制の充実や、生活支援体制の整備、積極的に社会参加できる環境整備のほか、介護・福祉人材の確保と資質の向上など、保健・医療・福祉サービスの充実に取り組みます。

能登中部地域（七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町）

将来像Ⅰ 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

地域独特の観光資源（世界農業遺産「能登の里山里海」に代表される豊かな自然、日本遺産「キリコ祭り」等の守り継がれた文化、豊富な食、和倉温泉、千里浜、能登金剛など）を活用し、能登ふるさと博等のイベントの実施や、スローツーリズム等の新たな観光魅力の発掘・磨き上げ等により誘客を促進するとともに、地域の交流基盤（のと里山空港、七尾港、のと里山海道、能越自動車道、国道415号、中能登横断道路、JR七尾線、のと鉄道等）の充実と効果的な活用により、さらなる観光振興を図ります。

ジョブカフェ石川能登サテライトにおける若者・女性への就職支援や、合同企業説明会の開催、農業を含むインターンシップの充実、ふるさと教育の充実等により、学生の地元就職や県外からの移住・定住を促進します。併せて、のと鉄道やJR七尾線の利用促進や生活路線バスへの支援などにより公共交通を維持確保するなど、良質な生活基盤を形成し、一生暮らす場所として選ばれる地域づくりを推進します。

いしかわ歴史遺産「七尾城が語る『能登の戦国都市物語』、『漂着神』の聖地 ～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～」や日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」など地域固有の貴重な文化財の発掘・保存・活用を進めるほか、学生による地域課題の解決を推進するなど、地域の個性と魅力を一層磨き、地域の活力向上につなげます。

将来像Ⅱ 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

地域の強み（世界農業遺産「能登の里山里海」やのと里山海道等）を活かし、本社機能の誘致を含めた戦略的な企業誘致を推進するとともに、繊維産業等については技術指導や情報提供等により体質強化を図るほか、豊富で特色ある地域資源を活用した新商品開発や販路開拓への支援や、伝統的工芸品産業の活性化を図ります。

農林水産業では、地域の特色ある農林水産物（中島菜等の能登野菜やルビーロマン、エアリーフローラ、能登牛、天然能登寒ぶり、加能ガニ、能登とり貝等）の産地化・ブランド化を促進します。農業では意欲ある人材を発掘するとともに農業参入総合支援プログラムを活用し企業等の多様な担い手を確保するほか、製造業との連携により農業の収益性の向上を図ります。林業では高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産や県産材加工流通体制の整備等を進め、林業の収益性の向上を図ります。水産業では七尾湾におけるトリガイ等の養殖の普及・拡大を図ります。

世界農業遺産「能登の里山里海」を活用し、里山里海の生業づくりや、スローツーリズムの取り組み等による人を呼び込む農山漁村づくりを推進します。

七尾港の充実した上屋や広大なふ頭用地等を活かし、原木や木材加工品の取扱拡大に取り組み、木材物流の総合拠点化を目指します。

将来像Ⅲ 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

七尾港において大規模災害時に海から救支援物資を受け入れるための整備を図るほか、水道施設の耐震化や熊木川などの河川改修による洪水災害に対する防災・減災対策、千里浜海岸の海岸保全対策を推進するとともに、原子力防災対策の強化に取り組みます。

世界農業遺産「能登の里山里海」に象徴される豊かな自然環境の保全を推進します。

地域医療を確保するため、修学資金の貸与等により医師・看護職員の確保に努めるほか、他地域も含めた医療機関相互の連携の強化を図ります。

少子化対策としては、企業における結婚支援の取り組み推進や、出会いの機会を増やすための取り組みにより、結婚への支援の充実を図ります。また、子育て世帯の三世帯同居が比較的多い中、子育て支援の充実に取り組みます。

今後も人口減少が見込まれる一方で高齢者が増加し、高齢化率のさらなる上昇が見込まれるため、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域での見守り体制の充実や、生活支援体制の整備、積極的に社会参加できる環境整備のほか、介護・福祉人材の確保と資質の向上など、保健・医療・福祉サービスの充実に取り組みます。

石川中央地域

(金沢市、かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町)

将来像Ⅰ 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

藩政期以来の歴史・文化資源（兼六園、金沢城公園、伝統的な街並みや様々な伝統工芸等）や伝統的な食文化（加賀料理、和菓子等）、湯涌温泉、日本三名山に数えられる白山の豊かな自然、白山麓の独特の文化を活用し、金沢城・兼六園四季物語等のイベントの実施や、体験観光メニューの発掘・磨き上げ、まちなかの歩行環境と回遊性の向上、金沢港におけるクルーズ船の戦略的な誘致等により誘客を促進するとともに、交流基盤（北陸新幹線、I R いしかわ鉄道、小松空港、金沢港、金沢外環状道路、金沢福光連絡道路、小松白川連絡道路、河北縦断道路、白山白川郷ホワイトロード等）の充実と効果的な活用により、北陸新幹線の敦賀延伸も見据えながら、さらなる観光振興を図ります。

北陸新幹線敦賀延伸時に、J R から経営分離される並行在来線については、開業に向け万全を期していきます。

ジョブカフェ石川における若者への就職支援や、合同企業説明会やインターンシップ等の実施、大学コンソーシアムの県外での進学説明会参加への支援、大学ガイドブック等による情報発信、いしかわシティカレッジの開催、ふるさと教育の充実等、高等教育機関の集積を活かし、学生の地元就職や県外からの移住・定住を促進します。併せて、I R いしかわ鉄道の利用促進や生活路線バスへの支援などにより公共交通を維持確保するなど、良質な生活基盤を形成し、一生暮らす場所として選ばれる地域づくりを推進します。

いしかわ歴史遺産「三つの寺院群と茶屋街 ～歩く・観る・祈る～」など地域固有の貴重な文化財の発掘・保存・活用を進めるほか、金沢城の総合研究を実施し国内外へ情報発信します。学生による地域課題の解決の推進や、石川県公立大学法人が運営する看護大学及び県立大学における人材育成や地域貢献の推進により、地域の個性と魅力を一層磨き、地域の活力向上につなげます。

将来像Ⅱ 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

地域の強み（高等教育機関の集積、機械産業・繊維産業等のものづくり産業の集積）を活かし、本社機能の誘致を含めた戦略的な企業誘致の推進や、革新複合材料研究開発センター（I C C）を拠点とした炭素繊維分野等の革新的な研究開発の推進、豊富で特色ある地域資源を活用した新商品開発や販路開拓の支援、加賀友禅・金箔等の伝統的工芸品産業の活性化を図ります。

金沢港の国際物流拠点としてのさらなる発展に向け、戦略的なポートセールスの推進により、取扱貨物の拡大を図り、コンテナ航路の拡充にもつなげます。

農林水産業では、特色ある農林水産物（さつまいもや加賀れんこん、たけのこ等の加賀野菜、ルビーロマン、エアリーフローラ、能登牛、加能ガニ等）の産地化・ブランド化を促進します。農業では経営体質の強化・発展のため、集落営農組織や認定農業者の法人化を支援します。林業では高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産や県産材加工流通体制の整備等を進めます。また、製造業との連携により、農林業の収益性の向上を図ります。水産業では金沢港の冷蔵・冷凍施設の整備等により高鮮度な水産物の供給を図ります。また、地域資源を活用した里山里海の生業づくりや、スローツーリズムの取組み等による人を呼び込む農山漁村づくりを推進します。

将来像Ⅲ 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

金沢港において大規模災害時に海から救支援助物資を受け入れるための整備を図るとともに、水道施設の耐震化や、犀川などの河川改修による洪水災害に対する防災・減災対策、七塚海岸などの海岸保全対策を進めます。また、関係機関とともに白山火山防災計画を着実に推進するとともに、原子力防災対策の強化に取り組みます。

周産期母子医療センターがある当該地域に、他地域からリスクの高い妊産婦や新生児を受け入れるため、周産期医療情報システムを活用した高度周産期医療機関の空床情報の把握と効率的な受入体制の整備を図ります。

少子化対策としては、企業における結婚支援の取組みの推進など、学生や若手社会人等を対象とした結婚への支援の充実を図ります。また、都市化・核家族化が進んでいることから、子育て支援については、共働き世帯とともに在宅育児家庭への支援の充実にも取り組みます。

今後も高齢者が増加し、高齢化率のさらなる上昇が見込まれるため、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域での見守り体制の充実や、生活支援体制の整備、積極的に社会参加できる環境整備のほか、介護・福祉人材の確保と資質の向上など、保健・医療・福祉サービスの充実に取り組みます。

加賀南部地域（小松市、加賀市、能美市、川北町）

将来像Ⅰ 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

地域独特の観光資源（越前加賀海岸国定公園やラムサール条約登録湿地の片野鴨池、白山眺望などの豊かな自然、お旅まつりなどの伝統文化、日本有数の規模を誇る山中・山代・片山津・粟津の4つの温泉からなる加賀温泉郷、ものづくり産業の集積等）を活用し、イベントの実施や、産業観光など新たな観光魅力の発掘・磨き上げ、加賀地域連携推進会議との連携等により誘客を促進するとともに、地域の交流基盤（北陸新幹線、小松空港、加賀海浜産業道路、南加賀道路、小松白川連絡道路、JR北陸本線等）の充実と効果的な活用により、さらなる観光振興を図ります。また、北陸新幹線敦賀延伸の効果を最大限に発揮できるよう観光誘客に取り組みます。また、JRから経営分離される並行在来線については、開業に向け万全を期していきます。

ジョブカフェ石川加賀サテライトにおける若者・女性への就職支援や、合同企業説明会の開催、インターンシップの充実、大学コンソーシアムの県外での進学説明会参加への支援、大学ガイドブック等による情報発信、いしかわシティカレッジの開催、ふるさと教育の充実等により、学生の地元就職や県外からの移住・定住を促進します。併せて、生活路線バスへの支援などにより公共交通を維持確保するなど、良質な生活基盤を形成し、一生暮らす場所として選ばれる地域づくりを推進します。

いしかわ歴史遺産「平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松」など地域固有の貴重な文化財の発掘・保存・活用を進めるほか、学生による地域課題の解決を推進するなど、地域の個性と魅力を一層磨き、地域の活力向上につなげます。

将来像Ⅱ 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

地域の強み（機械産業・繊維産業等のものづくり産業の集積、いしかわサイエンスパーク等）を活かし、本社機能の誘致を含めた戦略的な企業誘致の推進や、豊富で特色ある地域資源を活用した新商品開発や販路開拓の支援、山中漆器・九谷焼等の伝統的工芸品産業の活性化を図ります。

農林水産業では、特色ある農林水産物（加賀丸いも、ルビーロマン、エアリーフローラ、加能ガニ等）の産地化・ブランド化を促進します。農業では、基幹園芸作物（トマト・ブロッコリー等）の振興や、経営体質の強化・発展のため、集落営農組織や認定農業者の法人化を支援します。林業では高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産や県産材加工流通体制の整備等を進めます。また、製造業との連携により、農林業の収益性の向上を図ります。水産業ではズワイガニ等の天然資源の管理に取り組みます。

地域資源を活用した里山里海の生業づくりや、スローツーリズムの取組み等による人を呼び込む農山漁村づくりを推進します。

将来像Ⅲ 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

水道施設の耐震化や、動橋川などの河川改修による洪水災害に対する防災・減災対策を進めます。

地域医療を確保するため、修学資金の貸与等により医師・看護職員の確保に努めるほか、他地域も含めた医療機関相互の連携の強化を図ります。

少子化対策としては、企業における結婚支援の取組み推進や、出会いの機会を増やすための取組みにより、結婚への支援の充実を図ります。都市化・核家族化が比較的進んでいることから、子育て支援については、共働き世帯とともに在宅育児家庭の支援等の充実に取り組みます。

今後も高齢者が増加し、高齢化率のさらなる上昇が見込まれるため、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域での見守り体制の充実や、生活支援体制の整備、積極的に社会参加できる環境整備のほか、介護・福祉人材の確保と資質の向上など、保健・医療・福祉サービスの充実に取り組みます。